

第559回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和7年5月7日（水）午前11：00より

2. 開催場所 長野放送本社会議室

3. 委員の出席 ○委員総数 8名

○出席委員数 6名

○出席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）

委員長 林 新一郎

委員 浅井 隆彦

委員 笹本 正治

委員 武重 正史

委員 中谷富美子

委員 中山 潔

○欠席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）

副委員長 井上 裕子

委員 南澤 光弥

○放送事業者側出席者名

外山 衆司 （代表取締役社長）

船木 正也 （常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当）

西條 彰浩 （取締役 報道制作担当）

浅輪 清 （編成業務局長

兼 考査部長 兼 放送番組審議会事務局長）

北澤 輝久 （編成業務局編成部長 兼 視聴者室長）

伊藤 晴彦 （報道制作局長）

平井香太郎 （長野放送報道部副部長）

小宮山瑞季 （長野放送報道部アナウンサー）

4. 議題

（1）番組審議

1. 『 NBS Live News みんなの信州 』

令和7年4月10日（木）午後6時09分～午後7時00分放送

(2) 視聴者対応報告（令和7年4月分）

番組種別報告（令和6年10月～令和7年3月分）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・全体が本当に身近なニュースや話題だけで構成されていて、生活の中で知りたいことを丁寧に伝えていると印象を持った。間違いなく、地域の貴重な情報源になっているのではないかと感じた。
- ・とても親近感を持って見ることができ、まさに『みんなの信州』という番組名にふさわしい番組だと感じた。
- ・冒頭のツキノワグマの話題と、備蓄米の価格への効果については、非常に速報性、また緊急性も高かったという意味と今のこの状況を素早く伝えている点で、非常にテレビニュースの価値を感じた。
- ・クマのニュースは、1日経ったところで改めて深掘りして振り返って、合わせて今後の注意喚起も含めて伝え、この番組ならではのニュースになった。時系列で経緯を振り返り、あるいは現場の状況や関係者のインタビュー、解説等も交えて、より多面的に事態を把握できた。
- ・クマのニュースで、飯山市長が「全力を尽くしても被害が起きてしまったのが残念で仕方がない」という表現について、それでは具体的には「全力」とは何をしているのだろうかということの方が、むしろ私は知りたい。
- ・県の鳥獣対策係の発言に、「山菜採りなどで山に入る際は遭遇しないことが重要」とあったが、例えばクマ鈴を携帯するとか、集団で行動するなどというように、どうすれば遭遇しないのかということを入れて欲しい。

- ・県鳥獣対策係の発言に、「できれば首を守る」とあったが、「首を守る」というのを初めて聞いたので改めてチェックしたが、ほとんど出てきていないので、どうしてこうなるのか気になった。
- ・遭遇してしまった時の対応は、「よく目を見ながら後ずさりしろ」と「その場にくっついて首を守る」は初めての説明だったので、ちょっと疑問に思った。
- ・クマの頭数が増えているのか、または増えていなくてクマが下の里地に来ているのか、現地にクマを近付けないようにする具体的なことをどこかで入れて欲しい。
- ・「家に残されたクマの血痕」と表示すると、少し安心して見られるような状態になると思う。どちらかと言うと、襲われた人の血かなと勘違いして見るような場面があるといけないと感じた。
- ・クマの家の中の映像は、住民の方が撮られたのだと思うが、非常に直後の生々しい映像で、ニュース性を感じたと思う。ああいった映像というのは、特に映像を活用する意味では非常に有効だと思った。
- ・備蓄米のニュースは、視聴者の興味は今後の価格の先行きだと思うので、お店の方や購買客とか、政府関係者のコメントはあったが、流通関係者のコメントが気になるところで、そのインタビューがあったら良かった。
- ・「名探偵コナン」の県庁と県警本部への訪問は、地元ネタとしても旬であるし、長野県の良いアピールになるだろう。信州にとって非常に良い話題だったと思う。
- ・「名探偵コナン」の映画で、こういう観光目的に県知事とか警察本部長が出るということは当たり前なのかどうなのか、公的な部分として一企業とどう繋がっているのかということが、改めて気になった。
- ・天気予報は、例えば花粉情報の後、小宮山さんが「雨上がりは飛散が多くなる」という一言などが、全体的に非常に分かりやすく、いいと思った。

- ・特集の「なぜ東信に多い下校時にヘルメット」は、目の付け所が非常に良く
て、私達には民俗学だとか歴史学にも直接繋がり、非常に面白く感じた。
- ・「ご当地あるある」みたいな情報というのは、同じ県でも知らないことがたくさんあって、知らないことを知るっていうことは、やっぱり人間の喜びというか楽しい。
- ・気になったのは、（東信の）16市町村に（北信の）坂城町が入るという後に、木曽郡の木曽町と上松町（でもヘルメット着用）が入るのか。東信だけということとの繋がりが分からない。更に深掘りをしていただけると大変面白いのではないかと思った。
- ・鹿児島県の桜島噴火の例をあげて、これはもしかしたら浅間山の噴火対策ではないかっていう説がありましたけど、地域性から見ても非常に納得感があり、こういう掘り下げ方は面白いと思った。
- ・特集なので制作者側の意見をもっと前面に出しても良かったのではないかな。例えば「ヘルメットは全県でやった方がいいのではないかな」とか、そのぐらいの提言はあっても良かったのではないかなと思った。
- ・教育委員会に対して「夏は暑く、6年間同じサイズなのできついから、帽子にした方がいいと思います」という子供の側の意見をどのようにすくい上げていったらいいのか。あの子供たちにどうやって納得してもらったらいいのかということが気になった。
- ・詐欺事件の犯人の写真は、何であんな感じの写真が出たのか。あれしかなかったのかというのが非常に疑問。
- ・この番組のいいのは、「わが家のあいどる」、「みんなのベストショット」だとか、視聴者参加が非常に大事。心和む映像がいっぱいあることが、すごく引きつける魅力になっているように思う。
- ・堅いニュースの後に「わが家のあいどる」と「みんなのベストショット」があ

るのは、非常にバランス的に良い。硬軟織り交ぜてバランスの良い構成は、私たちがニュースに引きつける役割があったと思う。

- ・「あした天気にな〜れ」とか、「わが家のあいどる」は、直接関係のない私たちが見ても微笑ましいし、ずっと続けてほしいコーナーだった。
- ・最後にもう一度、県内のニュースを振り返り、天気予報のポイント等を流すところは、冒頭から見られなかった視聴者や、初めから見ていた人も、もう一度確認できるということで、非常に素晴らしい構成と内容の番組だと思う。
- ・(キャスターの) 重盛さんと小宮山さんは、非常に表情豊かだったと思った。それぞれのニュースの中身に応じて、表情をうまく使い分けていた。
- ・お天気キャスターの岸本さんは硬い。もうちょっと抑揚があってもいいと思った。
- ・小宮山さんが、「次はコナンの話題です」とか、そう言ってくださるものですから、家庭の主婦は見ることができ、非常に大切だと思う。テレビでありながら音声でのインフォメーションも、是非研究していただければ大変ありがたい。
- ・お天気レーダーの映像で県全体の雲の流れが示される中で、長野市と松本市がどこなのか、何かプロットがあると非常に分かりやすいと思う。
- ・画面のスタジオの風景CGが少し白過ぎるのかどうなのか、画面が少し眩しくチカチカするように感じて、なんとなく落ち着きを欠く。じっくりと見るというふうな画面の感じではないと感じた。
- ・この夕方の時間帯にニュースを見られない人へ伝える手段として考えると、映像と速報性に加えて、情報の展開力という点では、インターネットニュースというのが、改めて結構可能性があることも認識した。
- ・最初に出てくるところが、とてもまっすぐピンと立って、ちょっと真面目すぎるかなというのが感想で、もう少しアメリカのニュースではないが、座ってやるとか、他局との違いを出してもいいのかなと、ちょっと思った。

- ・他局との差別が十分できている感じがしたので、これからさらにブラッシュアップしていけば、もっと視聴率が上がると思う。

(2) 視聴者対応報告（令和7年4月分）

番組種別報告（令和6年10月～令和7年3月分）

資料に基づき、令和7年4月分の視聴者対応と令和6年10月から令和7年3月分までの番組種別について、編成部より報告を行った。

(3) その他

報道制作局より『FNSソフト工場 妄想パッキング』が、ギャラクシー賞の奨励賞を受賞したと報告。

配布資料

- ・第558回番組審議会（令和7年4月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和7年4月分）
- ・番組種別報告（令和6年10月分～令和7年3月分）
- ・モニターリポート

『 NBS Live News みんなの信州 』

（令和7年3月14日（金）午後6時09分～午後7時）

- ・BPO報告（NO. 275・276）
- ・民間放送ニューズレター（第2238号）

以 上